

Q1 動画ではなくアンケート回答公開のみ希望

Q3 住んでよかった街にすること

Q4 間違っことは間違いと言えるところ

Q5 気が短いところ

今の西尾市は各施設、校舎の老朽化が著しく延命工事をしても、各施設、校舎は近いうちに建設しなければなりません。しかし、PFI事業見直しにより、約198億円から142億円に縮小したとされる事業費が専門家の積算により、逆に約240億円の経費が大幅に膨らむことが判明したり、契約相手と何も協議せず一部契約を破棄し、裁判、弁護士、損害賠償金などの支出が発生しています。これも市民の大切な税金で支払われることとなります。現在のような市政の混迷を引き起こした市長、また、それを何も言わない議員に責任があると思います。

かつては、田園都市を目指してきた西尾市ですが、現在は農工商と調和がとれた市になってきていると思いますが、さらに、市の発展を伸ばすには、都市計画を充実させなければならず、住工混在の地域を整理し、子どもが育てやすい環境づくりのため、学校環境の整備、安全な通学路の設置、子ども園の増設など、環境に配慮した都市づくりが必要。

Q8 正直言って、議員一人では何もできないと思いますが、職員40年の経験を活かし、都市計画づくりに助言したいと思います。

今の西尾市は決して裕福ではありません。しかし、PFI事業見直しにより、逆に経費が大幅に膨らむことが判明したり、裁判、弁護士、損害賠償金などの支出が発生します。また、してはならない事業を実施したりする。このような市政の混迷を正常化させ、それによる財政難に陥る事を避けるためのご意見番に徹するため。

Q10 事前協議もせずに、唐突に契約中止する行為は、公契約でなくとも許される事ではない行為であり、ましてや、民間のノウハウにより利益を上げて施設運営し、市の財政を助ける手法のPFI事業を中止し、それに伴いやらなければならない事業を市単独で実施するために数十億の余分な費用負担をしなければならない事で、かつて批判のあった箱物行政になることにより益々財政を圧迫することになる。このことを強く言っているごく少数の一議員です。